

授業科目名	資本主義について学ぶ	科目コード	配当年次	単位
担当教員	高橋 玲	GA85	1	2
科目の概要				
<p>資本主義は、我々の日常生活がその中で営まれているという点からも、社会の根幹であると言える。我々はそれを「アタリマエ」として認識しており、過去から未来まで、普遍的に続くシステムであると捉えがちである。しかしながら、資本主義は、「歴史的生成物」である。それは、人類史のある時に「誕生」したものであり、それが永遠に続くかどうかはわからない。そこには当然、課題や問題も存在する。本科目では、資本主義の生成と課題、今後の見通しなどを学ぶ。</p>				
科目の到達目標				
<p>①経済学の基礎的概念を説明できる。 ②それらの概念と現実の世界の出来事とを結びつけて考えることができる。</p>				
テキスト	『図解でわかる 14歳から考える資本主義』インフォビジュアル研究所, 太田出版, 2020年 サブテキスト: 『武器としての「資本論」』白井 聡, 東洋経済新報社, 2020年			
テキストの読み方				
<p>①本科目で使用するテキストは、「ダイジェスト的」「図解的」である。精読の対象にはなりにくく、アカデミックな思考を陶冶するものとは言い難い。あくまでも「経済学」を学ぶための「入り口」である。 ②本テキストで学びを終えるのではなく、学術用語または概念がテキストに登場した際には、概念の「定義」を整理してノートを取るという作業を必ず行うこと。用語辞典や他の文献で、その意味を補完することが必須である。 ③サブテキストは、マルクスの『資本論』を、現代的文脈の中で解説したものであり、資本主義の特質と矛盾を、現実の社会生活に置き換えて理解する手助けとなる。身近な具体的事例にあてはめつつ、資本主義の本質を捉えてもらいたい。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				